

往還ノート

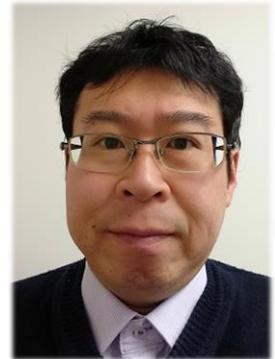
2学期2号(232号)2019年1月


放送大学 広島学習センター
福山サテライトスペース

生活の中でとらえる学び

放送大学広島学習センター客員准教授 高澤 健司

今年度は「生活からみる心理学」と題した公開特別講座を福山サテライトスペースで行なっています。心理学というと敷居の高い学問と思われることがありますが、日常生活の中には心理学の知見が活かされていることが多くあり、また、日常生活の中に心理学研究のヒントが多くあります。例えば「人はどうしたらやる気が出るようになるのか」とか「人はなぜ噂話を信じてしまうのだろうか」など普段気になっていることを解決したいという思いから研究がはじまったり、「若者たちはなぜ友だち同士で同じものを持ちたがるのだろうか」とか「毎朝出かける前に占いをしているのはなぜだろうか」といった日常生活で当たり前のように過ごしていることに疑問をもつことが人間の行動の特徴を知る手がかりになったりします。



高校や大学など学校という場は普段生活している場から切り離された場所であり、生徒や学生は学問や研究に勤しむところとされています。学校には数多くの知見があり、私たちはそこで学び研究し、その成果を自分たちの生活の場に持ち帰って活かしてきました。いわば、学びの場と生活の場は別にあるものとされてきました。このことは学びや研究に専念するためには適した環境でしたが、その一方で、学校の中でだけで通用し、日常生活では通用しない知見いわゆる「机上の空論」もあるのではという批判もされています。

知には学校で教授される知である「学校知」と日常生活の中で得られる「日常知」があるとされています。放送大学をはじめとした通信制学校はこれまでの学校とは違い、日常生活の中で学びます。つまり、学んだことや研究の成果をその場で活かすことができるとともに、学問や研究のヒントにあふれた場で学ぶことができます。これは学校知と日常知を融合させやすい環境で学べるといえるでしょう。今まで何気なく見過ごしていたことに少し疑問を持ち、それを解いていくことの喜びをともに得られればと思います。

目次

客員教員寄稿.....	1	視聴学習・図書室からのお知らせ.....	5
「所長室コーナー」から.....	2	行事の報告・お知らせ.....	7
事務室からのお知らせ.....	3	スケジュール(1月~4月).....	8

発表するということ(3)

広島学習センター所長 山田 隆

科学分野での国際会議では、時おり非常にユニークな発表が行われる。発表内容はもとより発表者個人の個性を強烈にアピールする効果がある。それは、フランスのパリにあるパスツール研究所で開催された国際ウイルス学会の場であった。英国人の W 教授は、アニメキャラクターの声色を使って、キャラクター同士の会話形式で講演を行なった。勿論、最初から最後まで一貫したスタイルだった。内容をきちんと伝える限りにおいては、インパクトの大きい面白い発想だとは思いますが、誰でも真似のできるものではない。学会の権威を重んじる日本では颯爽のものであろう（当該現場でも、あまりに人を食った雰囲気の一部の聴衆は眉を顰めていたかも知れない）。対照的な講演も同じ会場で行われた。ウイルスの進化研究では世界で第一人者である米国の K 博士は、小柄な体型に似合わず絶叫に近い大声で扇情的(?)な発表を行った。挑戦的な内容を含むとはいえ、約 30 分に及ぶこの威嚇的な高いテンションには、いささか疲れを感じた人も多かったであろう。講演後のディスカッションは低調であった。この会場には、電子顕微鏡によるウイルス構造解析の権威、米国の R 教授もいた。彼は、他人の講演の中でウイルス構造に関する用語使用の間違いや曖昧な表現を逐一指摘し、修正を求めた。演者によっては機先を制して、「R 教授は気に入らないかも知れないが」と断りを入れて発表を続けた。科学的な厳密性といえば、ある日本人教授を思い出す。彼は、指導する学生の学会発表に際し、発表原稿の一言一句を厳密にチェックし、原稿に忠実な発表を行わせた。不注意にでも間違った情報を発信してはいけないとの信念からだ。UCLA の生物学科サマーキャンプ研究発表会で興味深い場面に遭遇した。キャンプ場で浮き足立ちはしゃいでいる多くの学生たちの中で、数名は手に原稿を持って歩きながらブツブツ呟いていた。彼らは、厳しい学生指導で有名な G 教授の研究室所属であり、結局、全員が研究発表会では素晴らしい発表を披露した。G 教授は発表会場の最後部に鎮座し、他の研究室の学生の発表に対し、大声で「Talk louder! I can't hear you!」と冷やかしていた。結局、科学の分野では、発表の内容が最優先であり、できるだけ簡潔明瞭に正確に伝えるよう心がけねばならない。この基本の上で、余裕があればインパクトを高めるためにさまざまな工夫をすればよい。凝ったスライド作りもよいし、アニメキャラクターの声色の練習も良いかも知れない。



過去の機関誌「往還ノート」へ掲載された所長室コーナーからの「発表すること」(1)・(2)は、広島学習センター・福山サテライトスペースホームページ機関誌紹介に「往還ノート」のバックナンバー(過去1年分)を掲載しておりますので、そこから閲覧することができます。(「発表すること」(1)・(2)は2018年7月号(230号)と10月号(231号)に掲載しています。)

●○単位認定試験について○●

《2018年度第2学期単位認定試験日程、試験期間中の開所時間・閉所日》

1/24(木)	1/25(金)	1/26(土)	1/27(日)	1/28(月)	1/29(火)	1/30(水)	1/31(木)	2/1(金)	2/2(土)
大学院	学部	大学院	学部	閉所	学部	学部	学部	閉所	学部

【開所時間】 広島学習センター 9:00~19:00(視聴学習・図書室 9:00~18:45)
福山サテライトスペース 9:00~18:45

《持参物》

●**単位認定試験通知(受験票)…1月17日(木)**
になっても到着しない場合は、大学本部(総合受付) ☎043-276-5111 へ連絡してください。

●**学生証**

●**HBの鉛筆(シャープペンシルは不可)・消しゴム**

●**持ち込み許可物品**…持ち込み許可物品は試験の約1ヶ月前にセンター内掲示版へ掲示し、システム WAKABA「キャンパスライフ」→「学内連絡」へも掲載します。受験票送付時にも併せて通知します。

※筆記具や持ち込み許可物品は、**事務室での貸出しは行いません。**

《試験時間》

●50分間です。

●**試験開始10分前までに入室してください。**

●**試験開始20分以降は入室できません。**

《成績》

試験結果は(教養学部は面接授業の成績とともに)、**2月下旬**に「成績通知書」によって通知します。

システム WAKABA「教務情報」→「履修成績照会」でも確認することができます。

《再試験》

今学期(2018年度第2学期)、新規に科目登録した科目については、**次学期(2019年度第1学期)に引き続き学籍がある場合に限り**、次学期に再試験を受験することができます(休学中の場合を除く)。

2016年度以降に新規開設したオンライン授業科目は、単位認定試験を行いませんので再試験はありません。(※小学校外国語教育教授基礎論('17)を除く)

《単位認定試験問題・解答等の公表》

今学期の試験問題は**2月上旬**、解答等は**2月下旬**に公表予定です。

試験問題及び解答等は、過去1年分を、インターネット(システム WAKABA「学内リンク」より遷移)、広島学習センター(視聴学習・図書室)及び福山サテライトスペース(図書コーナー)で閲覧できます。郵送サービスも放送大学本部にて行っていますので、利用されたい方は学生生活の葉(教養学部:P76~/大学院:P70~)にて申込み方法等確認してください。

●○次学期の学生証の交付について○●

3月末で学生証の有効期限が切れる全科履修生の方、次学期に再入学・継続入学される方の学生証は、**4月3日(水)から交付**できます。有効期限が切れている方は旧学生証を、再入学・継続入学される方は旧学生証と「入学許可書」を事務室窓口まで持参してください。

学生証の更新にあわせて顔写真を新しくされたい方は、学生生活の葉(教養学部 P18~/大学院 P24~)を確認のうえ、手続を行ってください。

●○次学期の履修手続きについて○●

①次学期も学籍のある方

次学期に履修する科目の科目登録申請を期間内に行ってください。

☞	申請期間	申請方法
郵送	2月13日(水)～ 2月27日(水) 本部必着	1月中旬に送付されます科目登録申請票に次学期に履修したい科目を記入の上、大学本部へ郵送してください。
インターネット	2月13日(水) 9:00～ 2月28日(木) 24:00	システム WAKABA の「教務情報」から「科目登録申請」を行ってください。

②今学期で学籍の切れる方

引き続き放送大学で学習されたい方は、継続入学手続きを期間内に行ってください。

☞	出願期限	出願方法
郵送	【第1回募集】 2月28日(木) 本部必着 【第2回募集】 3月17日(日) 本部必着	1月上旬に送付されます継続入学用募集要項もしくは一般の募集要項に必要事項を記入の上、大学本部へ郵送してください(選科・科目履修生から全科履修生に継続入学する場合は一般の募集要項にて手続きをしてください)。
インターネット	【第1回募集】 2月28日(木) 24:00 【第2回募集】 3月17日(日) 24:00	システム WAKABA の「教務情報」から「継続入学申請」もしくは放送大学ホームページのインターネット出願から手続きをしてください(教養学部への継続入学生で面接授業も登録したい方は下記※を参照してください)。

③今学期末に卒業見込みの方

成績判定後に次学期に向けて手続きを行ってください。

必要な手続き	手続きに該当する方
科目登録申請(①参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期も学籍がある 場合。
継続入学(②参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期に学籍がない 場合。
	今学期末で卒業される方で、 引き続き放送大学で学習を続けたい 場合。

④しばらく科目登録していない方

全科履修生は連続して4学期(2年)間、科目登録申請及び授業料納入を行わないと除籍になります。連続して3学期間、科目登録手続き、授業料納入を行っていない方は、この機会に科目登録申請を行い、学習を再開しましょう。

※継続入学生が学期当初から面接授業の登録申請をする場合

教養学部(全科履修生・選科履修生・科目履修生)への継続入学生で、学期当初から面接授業の登録申請を希望される方は、**科目登録申請期間中(2月13日(水)～2月28日(木))にシステム WAKABA(「教務情報」→「継続入学申請」)から出願を行う必要があります。**

- 学期当初からの面接授業の科目登録申請は、郵送での受付はありません。
- 科目登録申請期間外に継続入学申請を行った場合、面接授業の科目登録申請はできません。
- 出願時には、1科目以上放送授業又はオンライン授業を登録する必要があります。面接授業の登録申請のみでは出願できません。

※重要※ 2019年度第1学期から面接授業が変わります！

- ◆ 総実授業時間(675分)を確保するため、原則として1コマの授業時間が **85分から90分** (最後の8時限目は45分) に変更となります。授業の開始・終了時間が変わりますので注意してください。

時 限	時 間
1時限	9:50 ~ 11:20
2時限	11:30 ~ 13:00
3時限	14:00 ~ 15:30
4時限	15:40 ~ 17:10
試験・レポート等	16:25 ~ 17:10

「試験・レポート等」の时限は最後の8時限目(45分)終了後に45分設けられます(8時限目以外に設けられる場合もあります)。一部の科目については、この时限を設けないこともあります。

※上表は中国・四国ブロックの実施時間です。他ブロックでは異なる場合があります。

- ◆ **授業時間とは別に**成績評定のための**試験・レポート等(*)の時間が設定**されます。
*評価方法はシラバスに記載されているので、必ずご確認ください。(一部の科目については試験・レポート等がない場合もあります。)

- ◆ 成績評価が放送授業、オンライン授業と同じく合・否 ⇒ **①～Eの6段階に変更**となります。

評定	評 語	筆記試験の点数【目安】
①	基準を大きく超えて優秀である。	100点 ~ 90点
A	基準を超えて優秀である。	89点 ~ 80点
B	望ましい基準に達している。	79点 ~ 70点
C	単位を認める最低限の基準に達している。	69点 ~ 60点
D	単位を認める最低限の基準を下回る。	59点 ~ 50点
E	基準を大きく下回る。	49点 ~ 0点

※D、Eは不合格。3回以上欠席の場合は、評価を行わない(「-」と表記)。

なお、原則として全講義出席を前提。

- ◆ シラバスに面接授業 **「受講前の準備学習等」**について記載されます。

視聴学習・図書室からのお知らせ

◆◇図書・資料の室外貸出停止期間について◇◆

1月10日(木)～2月2日(土)まで、視聴学習・図書室の図書・資料の貸出停止期間です。
貸出中の図書・資料は1月9日(水)までに返却してください。

◆◇視聴学習・図書室の臨時閉館について◇◆

次学期準備のため、視聴学習・図書室を3月24日(日)～31日(日)の期間、閉館します。
貸出中の図書・資料は3月23日(土)までに返却してください。

◆◇庄原教室での放送教材の視聴について◇◆

庄原教室(庄原市民会館：庄原市西本町二丁目 17-15)においても、放送教材の視聴ができます。
現在、庄原教室に配架されていない科目を履修されている場合は、複製希望科目を2月28日(木)までに広島学習センター(☎082-247-4030)へ連絡してください。

庄原教室へ現在配架されている科目については、広島学習センターへお問い合わせください。

※重要※ 2019年度より学習センター所蔵図書資料の貸出を終了します

2019年度より、学習センター内に配架する図書資料を印刷教材、辞書、面接授業や放送授業に関連するもの及び所長が特に必要と判断するものに限定し、原則それ以外の図書資料は新たに配架しないこととします。

また、上記図書資料は学習センター内に限り閲覧が可能とし、貸出は行わないものとします。

学生の皆さまにおかれましては、何卒ご了承ください。

本部附属図書館等より取り寄せた図書等の貸出は、引き続き行います。

※重要※ 2019年度教養学部新規開設科目より放送教材のセンター内配架を行いません

2019年度の教養学部新規開設科目より、放送教材(CD・DVD)のセンター内配架を行いません(大学院は2018年度新規開設科目より配架を行っておりません)。

放送教材が配架されていない科目を学習センター内で視聴したい場合は、視聴学習・図書室内の放送授業視聴用パソコン及びパソコン実習室(広島学習センターのみ)設置のパソコンから、放送授業のインターネット配信をご利用ください。

放送教材の郵送貸出は、放送大学本部にて一括して行っておりますので、希望する場合は「学生生活の葉(教養学部 P33~/大学院 P44~)」を確認のうえ、手続きをしてください。

無線 LAN 接続サービスについて

学習センター・サテライトスペース内で個人のパソコンやスマートフォン、タブレットを無線 LAN 接続することが可能です。無線 LAN 利用にあたっては下記 3 点を事務室へ持参しアカウントを申請してください。アカウントの交付には 2 日程度時間を要します。

無線 LAN 利用申請書(学習センター事務室に様式があります)

学生証

サイバーセキュリティ研修(システム WAKABA の放送大学自己学習サイト内「情報セキュリティ研修(学生用)」)修了証

※既に無線 LAN アカウントを取得している方は、2019年3月末日までに情報セキュリティ研修の修了証を事務室へ提示してください。提示がなかった場合はアカウントの利用を停止します。

無線 LAN 使用にあたって

◆無線 LAN の使用にあたっては、利用条件を遵守してください。

◆無線 LAN への接続設定は各自で行ってください。

◆所属学習センター以外のセンター(一部除く)でも同じアカウントで無線 LAN を使用できます。

◆無線 LAN を利用出来ない場所や電波が弱い場所がありますので、ご了承ください。

◆アカウントの利用期限は在学期間です。利用期限内であれば、所属学習センターを変更した場合でも再申請をする必要はありません。再入学した場合は再度申請をする必要があります。

◆スマートフォン、タブレットで放送授業を視聴する場合は、専用のアプリケーション「ネット配信」をインストールする必要があります。Android 携帯端末は Google Play、iOS 携帯端末(iPhone・iPad)は App Store から無料でダウンロードすることができます(通信費は発生します)。

視聴学習・図書室内での個人パソコン等の使用にあたって

◆個人のパソコン等を使用し、視聴学習・図書室内の放送教材を複製することは禁じられています。

◆個人パソコン等によるキーボード入力時の文字入力音やタッチ音などの操作音は、周りの人に迷惑をかけることがありますので十分な配慮をお願いします。場合によっては機器の持ち込みをお断りすることがあります。

研修旅行に行ってきました！

10月13日(土)に、「阿伏兎(あぶと)観音と鞆の浦を歩く」研修旅行に行ってきました。

行程

広島 SC・福山 SS 出発 ▶ 阿伏兎観音拝観 ▶ 昼食 ▶ 阿藻珍味(休憩) ▶ 鞆の浦 ▶ 帰路

参加者から研修旅行の感想が多く寄せられました

全科履修生 木本 尚美

常夜燈



行楽の秋にふさわしい過日、「阿伏兎観音」と、「鞆の浦」の町中を散策する研修旅行に、参加させていただきました。険しい海食岸が続く沼隈半島の先端に建つ「阿伏兎観音」は、急な階段を上り詰めた先にある朱塗りのお堂で、荒々しい岩肌との調和もさることながら、空の青さも相まって、素晴らしい景観を見渡す事ができました。拝観・記念撮影後、昼食を済ませて「鞆の浦」にバス移動し、町中へ向けては、「常夜燈」を目指し、石畳を歩いて進みました。ここからはボランティアガイドさんの案内で、まず

「いろは丸展示館」へ。坂本龍馬と海援隊が乗った「いろは丸」と紀州藩「明光丸」の衝突事件にまつわる龍馬の奮闘話を興味深く聴き、続いて家並みをぬって高台に登り、宮崎駿監督、「崖の上のポニョ」の舞台になった地を眺めました。また、今年日本遺産に認定された、港湾施設を目の当たりにしては、地元生活者優先か、観光重視かで揺れた、架橋建設問題に思いをはせました。そして同遺産、「福禅寺対潮楼」では、かつて朝鮮通信使が「日東第一形勝」と愛でた、瀬戸海の眺望を満喫しました。

昼食会場や往復のバス車中では、放送大学生活について数々情報交換がなされ、次回研修旅行への期待が膨らむ有意義な一日でした。

本企画等をご担当、お世話していただいた学習センター関係各位、鞆の浦見学ボランティアガイドの方々のお心遣いに、心より感謝申し上げます。



阿伏兎観音

福山サテライトスペース主催 美術鑑賞会に行ってきました

10月14日(日)に福山サテライトスペース主催の美術鑑賞会を行いました。

今回は、ふくやま美術館「開館30周年記念 岸田劉生展—実在の神秘、その謎を追う—」を、学芸員の方のご案内のもと鑑賞しました。



2018 年度卒業研究履修者
卒業研究成果発表会を開催します

- 日 時：2月17日(日)14:00~17:00(予定)
- 場 所：広島学習センター大講義室(3階)
- 申込先：広島学習センター事務室

2018年度に卒業研究を履修した学生が、研究の成果を発表します。卒業研究の履修を考えている方や卒業研究に興味のある方は是非参加してください。

放送大学広島同窓会主催
広島学習センター山田所長を
囲んでの座談会

- (在学生・同窓会員・卒業生 対象)
- 日 時：2月10日(日)14:00~16:00
 - 場 所：広島学習センター会議室(4階)
 - 申込先：広島学習センター事務室
 - 申込締切：1月27日(日)

放送大学で学ぶ学生、卒業生同士で学習センター所長を交えて「お話」しましょう。

入学してよかったこと、学習の悩みや疑問、他の学生はどんなふうに学習しているの?等々、交流の輪を広げ、放大大ライフをもっと楽しみましょう。

スケジュール(1月~4月)

1月

月	火	水	木	金	土	日
	1※	2※	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

10日(木)~2月2日(土) 図書・資料貸出停止
24日(木)・26日(土) 単位認定試験(大学院)
25日(金)・27日(日)~2月2日(土) 単位認定試験(学部)

2月

月	火	水	木	金	土	日
				※1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

13日(水)~27日(水) 本部必着 科目登録申請(郵送)
13日(水)9:00~28日(水)24:00 科目登録申請(Web)

3月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

23日(土) 学位記授与式(NHKホール)
24日(日)~31日(日) 視聴学習・図書室臨時閉館
31日(日) 学位記授与式・入学者の集い(広島・福山)

4月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

13日(土)12:00~ 面接授業空席発表
19日(金)~ 面接授業追加登録

閉所日(月曜日、祝日、所長が必要と認めた日) (※) 臨時閉所日

広島学習センター

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
TEL▶082-247-4030 FAX▶082-247-4461

福山サテライトスペース

〒720-0812 福山市轟町1-10-1(まなびの館ローズコム3階)
TEL▶084-991-2011 FAX▶084-991-2012

MAIL / 学習センターHP

hiroshima-sc@ouj.ac.jp / https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/

卒業おめでとうございます



広島学習センター

9月30日(日)に、
2018年度第1学期
学位記授与式を行いました。

【2018年度第1学期卒業生数】

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活と福祉コース	10	4
心理と教育コース	13	3
社会と産業コース	4	3
人間と文化コース	3	2
情報コース	2	0
自然と環境コース	2	1
合計	34	13



福山サテライトスペース

教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、益々のご活躍を祈念しております。

目次

卒業おめでとうございます..... 1	卒業生代表挨拶..... 3
学位記授与式客員教員祝辞..... 2	卒業生からのメッセージ..... 5

学位記授与式客員教員祝辞

広島学習センター客員教授 柴 静子

卒業生の皆さま、学業を無事に終えての学位の取得、誠におめでとうございます。入学時から研鑽を積まれて、今日のおめでたい日をお迎えになり、センター教員の一人として、心よりお祝い申し上げます。

皆さんの脳裏には、今日に至るまでの様々なご苦労とともに、楽しい学びの思い出がいくつも蘇っていることと拝察します。学ぶということは、それまでは気づかなかった知識と知識の関連性が分かり、自己の認知体系に、これまでとは異なる良き変化が起こることだと考えます。放送大学での学習が、自己のよりよき方向への変革に繋がり、ひいては人間や社会を深く理解し、これからの人生を豊かに生きるための指針となればうれしく思います。

ここで、様々な思い出と共に巣立ち行く皆さんに次のようなエールを送りたいと思います。

それは、明治4年11月12日のことです。日本の近代化のモデルをアメリカやヨーロッパに求めて、当時の新政府の首脳部である岩倉具視、大久保利通、伊藤博文ら46人と幼い津田梅子らを含む留学生50数名からなる総勢107名が、命をかけて蒸気船で太平洋を渡り、アメリカ西海岸到着を目指したのですが、その出立の日、横浜の港では、三条実美(さねとみ)が思いを込めて惜別の言葉を述べました。

その最後の部分は、「行けや、海に火輪を転じ、陸に汽車をめぐらし、万里馳駆(ばんりちく)、英名を四方に宣揚(せんよう)し、つつがなき帰朝を祈る」という言葉で締めくくられていました。分かりやすく言えば、「蒸気船の火輪を力強く廻して太平洋の荒海を乗り切り、アメリカ大陸に着いたならば、大陸横断鉄道に速やかに乗って、果てしなく広い大地を駆け巡り、行く先々で名声を広く示していただきたい。大事業を成し遂げて、皆が無事に帰国することを祈っている。」ということです。

木の葉のように荒波にもまれる小さな蒸気船で、未知の大国にたどり着き、近代国家の有様を視察して日本の発展に資する指標を求めることは、間違いなく命がけの行動でした。そしてその成否は、近代国家建設の成否を決定する、言い換えれば国家存亡の岐路となる重大事でした。

岩倉使節団の足下にも及びませんが、私も難局に当面する度に、三条のこの言葉から勇気をもらってきました。

皆さんはこれから、それぞれの場で活躍されるわけですが、時には悩んだり、立ち止まったまま足が動かないようなこともあるでしょう。そのような時には、この言葉を思い出して、勇気をふるって課題に立ち向かってください。

それとともに、放送大学で学んだ知見や体験を活かしながら、常に「夢」をいだし、その「夢」を達成するために「努力」し、「あきらめない」という強い気持ちを持ち続けていただきたいと思っています。

ご卒業の皆さんのご健勝とご活躍を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠におめでとうございました。



卒業生代表挨拶

広島学習センター卒業生代表 近藤 範久(社会と産業コース)

私たち卒業生のためにこのような盛大な学位授与式を行っていただきありがとうございます。また山田所長、ならびに客員教授の先生から暖かいお言葉をいただき身に余る光栄と感謝申し上げます。

わたくしは公務員四十一年余りと次の団体職員五年ほど勤め退職した六十五歳の時、若いころ大学進学を断念したことがあったことを思い出し、大学とはどんなところか入学して勉強してみようかという気になりました。その時すでに第三の職場で土、日曜に働くことを決めていましたので仕事を休まずに勉強できるように科目選択をしました。

社会と産業のコースの全科生としてスタートしました。

最初は四科目位を選択して短期間卒業を目指していたのですが途中中だるみとなり、年数のみが過ぎてゆきました。入学後六年目くらいの時先輩からの激励もあり、本気で卒業しようと思い九年目にして卒業できました。

大学入学の動機の一つとして大学ではどんな勉強をするのかという興味がありました。

入学して分かったことは学問とは真理の追求である。具体的な一つのテーマを決め、それをあらゆる方向から攻めて行って結論に導いて行くという素晴らしい行為であると理解しました。

わたくしは今町内会の仕事をさせてもらっていますが、町内会の最大のテーマは少子高齢化対策です。これは子育て応援と元気な高齢者作りの二つを目標に掲げております。今私が住んでいる団地町内会では高齢化が進んでおり、七十歳代は若い衆で、八十歳以上でやっと一人前なのです。これからは八十歳台で若い衆、九十歳台でやっと一人前という時代が間違いなく来ます。年金の減額、医療保険の破綻も目前なのかも知れません。この社会的に大きな問題に対応し、放送大学で学んだ知識を生かしアクションを起こしたいと思います。具体的には何をすべきか、それは一人ひとりが考え、それぞれの力量に応じてやるしかないと思います。

私自身は元気な高齢者になるために、運動による筋力アップ、健康になる食物を得るための野菜

作り、精神の健康を得るために、皆さんに喜んでもらえるボランティア活動、音楽を聞く、趣味のモノづくり、短歌、俳句、写真等多彩に取り組んでいます。

放送大学卒業は私にとって終了ではなく、新たなスタートであると解釈しこれからも色々なことをやりたいと思います。

放送大学で楽しく勉強させていただきましたことを深く感謝しております。

皆様、たいへんありがとうございます。



※近藤さんは当日、台風の影響により出席できませんでしたが、この紙面をもって代表挨拶とさせていただきます。

卒業生代表挨拶

福山サテライトスペース卒業生代表 吉田 行宏(心理と教育コース)

本日は、私たち卒業生のために学位記授与式を行っていただき、誠にありがとうございます。

また先程は山田所長様から心温まるご祝辞を頂き感謝に耐えません。

そして、卒業まで多くのサポートをして下さった広島学習センターと福山サテライトスペースの皆様には、大変お世話になり、この度の卒業の日を迎えることが出来ました。本当に有難うございました。

私事ですが、年齢は今年で34になります。高校卒業後、医療の専門学校を経て現在、理学療法士として病院に勤務して働いています。専門士として働いているため当初、大学への関心はそれ程ありませんでしたが、30歳になった時に一度自分の人生を見つめ直そうとし、考え込む時期がありました。その時に両親の勧めもあり、放送大学を知るきっかけとなりました。聞けば編入学も出来るということで、すぐさま資料を取り寄せ、色々と調べていくうちに大学を卒業したいという気持ちが高まりました。そして翌年、3年次編入学をすることを決めました。医療職をしていることもあり、今の仕事に役立つものはないかと探したところ、「認定心理士」という資格は取得出来る心理と教育コースを専攻することにしました。元々心理学には興味があったので楽しく学べて、大学と仕事との両立も無理なくこなすことが出来、無事卒業することができました。

放送大学での学習については、併設している図書館の学習室を利用したり、単位認定試験の際に利用出来る隣の控え室を多いに活用した覚えがあります。

また、選択科目を勉強する際に送付される印刷教材に関しては、まずしっかり読み、理解することを優先して勉強していました。とても理解しやすく構成されていて学びやすかったです。

放送大学においては職場には内緒で卒業するつもりでしたが、控え室で学習していたところ突然、後ろからポンと肩を叩かれ、職場の看護師さんに即ばれてしまいました。やっぱり世間は狭かったです。いまでは笑える良き思い出です。ただ、同じ職場の方も放送大学で学ばれていることを知り、一人ではないのだなと勇気づけられ、同時に良い刺激となったことを覚えています。

この度はご入学おめでとうございます。様々な気持ちを抱いて、これから放送大学で学ばれることと思います。私も30歳から入学しましたが、面接授業なども含め、放送大学で学べたことは私にとって誇りに思います。私から皆様に伝えたいことは「学べることを思いっきり楽しんで」とこれに限ります。卒業目指して頑張ってください。

最後になりましたが、今日まであたたかくサポートして下さった広島学習センターと福山サテライトスペースの皆様、友人、家族に心から感謝一杯です。本当に有難うございました。これから皆様のご健勝と放送大学の益々のご発展をご祈念致しまして、お礼の言葉とさせていただきます。本日はまことに有難うございました。



卒業生からのメッセージ

2018年度第1学期卒業生の皆様より、卒業にあたっての思いや、これから学ぼうとする学生の皆さまへ向けてのメッセージをいただきました。

●生活と福祉コース卒業 久保 正雄

定年退職後に入学し、宇宙など雄大な自然について学びたくて「自然と環境」を卒業後、身近な生活について学びたくて「生活と福祉」を選択してこのたび通算9年で第2コースの卒業となりました。

また、「放送大学エキスパート」の専門分野修得を目標に学習計画を立て、これまで6項目のプランについて認証をいただきました。認証取得は、学習の励みとなりました。

卒業後も再入学して、生涯学習を継続したいと思っています。

●生活と福祉コース卒業 中田 康弘

大学への入学の切っ掛けは学卒と高卒の待遇の違いの偏見からです。今思えば、常識のなさが恥じられる思いである。苦勞して勉学に勤んでいる事も判らず…。ある時上司より夜間大学の奨励もあったりして、悶々としている時に子供が入学書類を…。妻の勧めも有って平成19年に「生活と福祉」へ入学しました。妻と二人三脚で頑張ってきたが、妻がガンに侵され約10年間の闘病生活後、この三年前(6月)に亡くなりました。この間授業も疎かになり、本部より激励の電話をいただいたりして、今日に至っております。「苦勞はするけれど、頑張れば何事も出来る事」を学びました。良き仲間、先生方の良き御指導、事務職員の親切心に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

●心理と教育コース卒業 高倉 まり

生活と福祉で卒業し、このたび心理と教育で卒業となります。

看護師をしており、患者さん、ご家族、スタッフから相談を受ける事が多く、心理学の知識をもって接したいと考え、認定心理士資格をめざし学習しておりました。

心理学で得る知識は、ものの見方や考え方がひろがり、人間関係を円滑に築くことに役立ち、心理学的ケアを行うことにも役立ちます。

看護師に関連する学習を幅広くできることもあり、学習を続けたいと考えています。

●心理と教育コース卒業 A.T

仕事と両立できるだろうか、単位はとれるだろうかと不安ばかりの中、勇気を100倍出して入学。

いざ入学してみると、知識、理解がどんどん深まっていく楽しさと時間を調整して目標を成し遂げていく達成感に満たされた充実した新しい環境を入手できました。

途中体調を崩し、休学するもやはりもう一度チャレンジしたのは、学ぶ楽しさを体感していたから。

人生100歳時代、まだまだチャレンジは続けていきます。

学校関係者の方々に深謝。

●心理と教育コース卒業 中島 淳子

中学生の子供を持つ専業主婦でしたが、通いの介護が始まったので、家庭以外の事を考える時間が必要と思い入学しました。

単位認定試験の日時が半年前から決まっているので、ほとんど自分の自由な時間で勉強できました。卒業間近になると、取る科目が限られてくるので、臨時にデイサービスをお願いし、介護施設の方にお世話になりました。

今まで支えてくれた家族に、学習センターで声をかけてくださった先輩方に、いつも笑顔で迎えてくれた義母に、感謝致します。

●心理と教育コース卒業 野村 和代

定年退職をして11年が過ぎました。今回で4つ目のコースの卒業となります。退職した当初は自分の時間も十分にありましたが、現在は畑仕事や家事に追われ忙しく勉強しております。今回は少し考えて5つ目のコースに入学をしました。今後は苦手な教科にもとり組まなくてはなりません。今までのような安易なやり方ではなく、じっくり頭に入れながら自分のものにしていく勉強をするよう反省しながら頑張っ続けていきたいと思ひます。

●心理と教育コース卒業 樋口 浩子

「必要必然」友人がよく口にする言葉を今、改めて噛み締めている。以前から父に勧められ夫も応援してくれた放送大学での学び。入学1週間後に夫が職場で倒れた。医師の説明に言葉を失い突然の絶望の日々。生きる意味を見失いそうになりながらも両親兄弟を始めご縁をいただいた方々との出遭いや励まし、一学期に一科目でもの言葉を胸に3年。今の私が有る。紙面を借りて感謝を申し上げたい。今後も学びとしっかり生きていく事を誓う。

●社会と産業コース卒業 近藤 範久

私が放送大学に入学したのは第二の職場を退職した65歳の時でした。思えば大学入学を断念した18歳の時から47年の歳月が流れておりました。その時すでに第三の職場を得て、土曜日に働いていたので試験日が平日の科目を選びました。高齢苦学生始まりです。初めのころは卒業までは意識になかったのですが勉強に面白さが出てきて、この度卒業することが出来ました。高齢になって勉強することの意味について考えてみずには勉強は一生すべきではないかと思ひます。世の中のいろいろなことが、発展と変化を繰り返し、高齢になってもそれについていく努力をしなかつたらこれからの若い人の足を引っ張ることになります。これからも頑張りたいと思ひます。

●社会と産業コース卒業 富保 雄嗣

私が、放送大学へ入学した最大の理由は、大学院へ進学してMBA(経営学修士)を取得するためでした。

でも、入学したときは、30代の後半の年齢でした。今、40代の半ばです。

今、放送大学を卒業できましたが、大学院へ入学する年齢とは、ずいぶんかけ離れています。そこで、MBAを取得して、職場で活かしていこうとは思っていません。でも、私は、今も、仕事よりも、もっと大切なことがあると思ひています。それは、「自分の成長」ではないでしょうか？会社とは、「労力を提供する場であって」自分の人生を捧げる場では無いのです。イロイロな教養を身に付けて残りの人生を豊かにして生きたいです。

Don't Study For Work.

●人間と文化コース卒業 杉原 道彦

卒業に際し、家族の支えに感謝するとともに、熱心な教授陣の面接授業が強く印象に残りました。歴史の学び直しのため、大学に入学しました。勉強は、一人で忍耐強く、仕事や家事の合間を見つけて行います。私自身、単位取得に追われ、深く探求までに至っておりません。あらためて読む力・書く力の重要性を実感しました。貴重な体験でした。本当にありがとうございました。そして、若い同窓の勉強する姿にも勇気づけられました。

●人間と文化コース卒業 高橋 文子

3コース目の卒業です。文学や歴史の学びは楽しいワクワクする体験でした。中世の文学を学び、今後、源氏物語や方丈記、徒然草などじっくり読み進めたいと思ひます。歴史では有名・無名の先人の足跡を身近に感じ、庶民や地方から捉えた歴史に強い関心を持ちました。目を背けがちだった悲惨な戦争に対しては向き合っ考えたいと思ひます。公開特別講座はインターネット、経済、暮らしなど役立つ学びが多くありました。